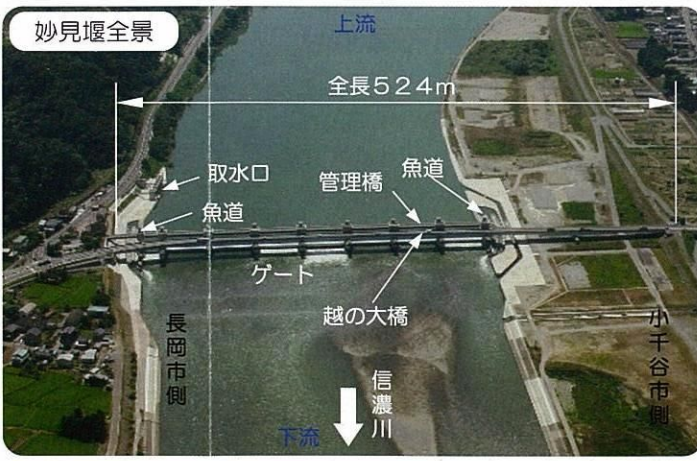


妙見堰って何?

そうさしつ 操作室



操作室には、川の情報が集まってきます。ゲートなどを動かすコンピュータがあり、24時間見守っています。

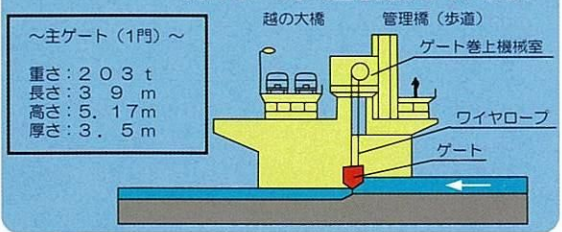


ゲート

妙見堰には全部で8門のゲートがあります。ゲートを上げたり下げたりし、流れていく水の量を調節しています。

~主ゲート(1門)~

- 重さ: 203 t
- 長さ: 39 m
- 高さ: 5.17 m
- 厚さ: 3.5 m



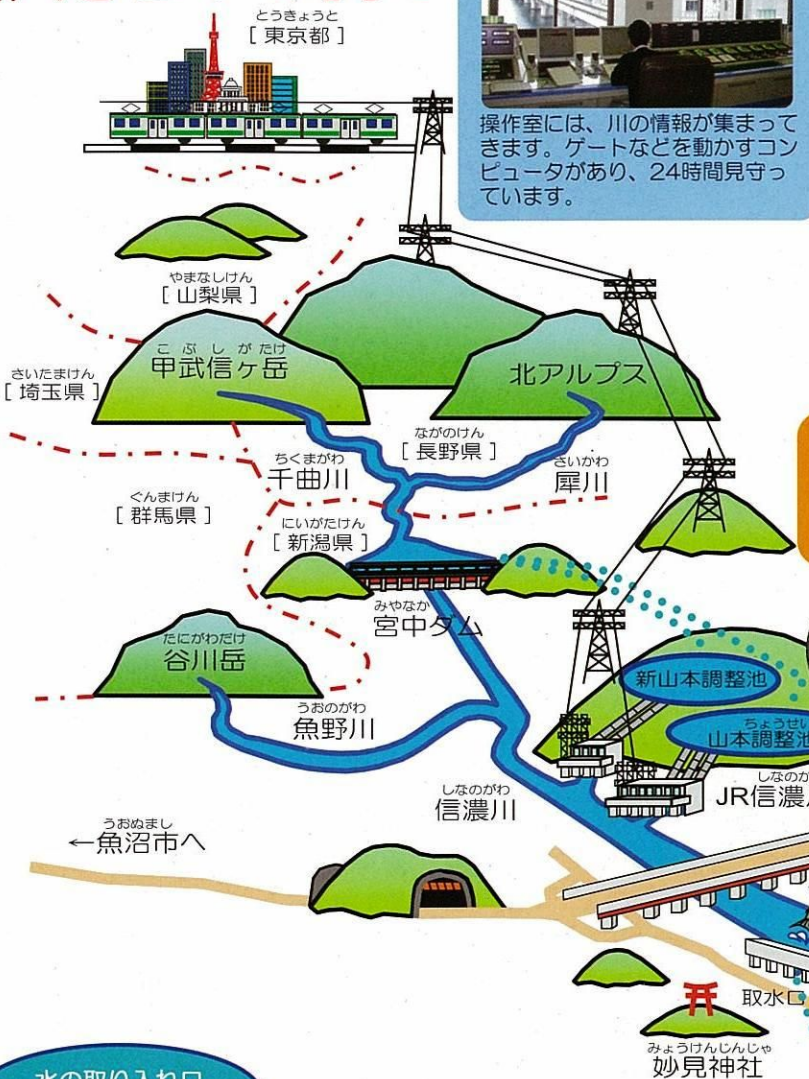
ぎょ 魚 道

妙見堰には5本の魚道があり、魚が自由に行き来できるように工夫がされています。



サケ・マス用 (流れはやや早い) アユ用 (流れはゆるい)


※遡上時期
アユ: 4月下旬~6月上旬 サケ: 9月下旬~11月



役割その3

信濃川の上流には水力で電気をつくる施設(水力発電所)があり、発電に使われた水が信濃川に大量に流れ込むことがあります。そこで一時的に妙見堰で受け止めて、下流に流れる水の量があまり変わらないように調整することができます。

役割その1

川が安定して流れるようにしています。昔は  のように、あちらこちらに流れていました。

役割その2

水道用水と農業用水の取水口から安定して取り入れることができますようにしています。

- 長岡市水道用水: 1秒間にお風呂8杯分を取水
長岡市の水道用水は、ここから妙見浄水場へ送られ、水道水となってみなさんの家にとどきます。
(旧長岡市のほぼ全域に行き渡っています。)
- 福島江用水: 1秒間にお風呂120杯分を取水
福島江は、信濃川から農業用水を引くためにつくられた水路です。

役割その4

堰の柱を利用して越の大橋(国道17号バイパス橋)が架けられています。

水の取り入れ口 (取水口)



水道用水 ↓ 福島江用水